

2年ぶりの流しそうめんで賑わう

◎安森洞そうめん流しオープン



7月10日、安森洞そうめん流しがオープンしました。

そうめん流しは、地元住民でつくる安森鍾乳洞保存会が実施。現在会員15人が活動しています。去年は40周年の節目を迎えていましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し中止になったため、2年ぶりのオープンとなりました。

新型コロナウイルスの感染対策として、客席はアクリル板で区切り、流れているそうめんをすくうために使う専用の茶こしを用意。さらに、人との接触を減らすため、券売機を新たに設置するなど、新型コロナウイルスの感染を広げないための工夫をしました。また、希望者には個別にたらいそうめんを用意しました。

オープン初日の天気は残念ながら雨でしたが、そうめん流しの始まりを待ち望んだ家族連れらが、続々と訪れ、涼しさを感じる自然豊かな雰囲気を楽しみながら、すくう楽しさとともに流しそうめんを味わっていました。

また、近くの釣り堀には、ニジマス約1,000匹を放流。竹でできた釣竿を持ち、子どもたちがニジマス釣りを楽しんでいました。

安森洞そうめん流しは、8月31日までの営業を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大したため、12日から中止になりました。

子どもたちに楽しい夏の思い出を

◎広蓮の夏フェス

7月25日、広見体育センターで「広蓮の夏フェス」が開催されました。

このイベントは、地域のお祭りなど夏のイベントが中止となる中、子どもたちに夏の楽しい思い出を作ってもらおうとダンスチーム広蓮が開催しました。

会場では、広蓮のメンバーとその保護者による、射的や釣り、もぐらたたきなどのお菓子がもらえるゲームコーナーが用意され、子どもたちが夢中になって楽しんでいました。また、ステージでは、広蓮のメンバーがダンスや歌を披露。訪れた人たちは手拍子を送り、会場はダンスと音楽を楽しむ一体感に包まれていました。

